

# 社 報



## 優位性の証明

### 昨年の安全成績

現場の皆様には、寒さの厳しい中、毎日のお仕事ご苦労様です。おかげをもちまして、昨年の安全成績も死亡災害・重大災害の発生はゼロでありました。これは大変、喜ばしいことですが、休業・不休災害の発生は下記の通りとなりました。

休業災害-----2件

大工さんが脚立から足を滑らせて捻挫・打撲したものを。

(休業10日)

解体工さんがノコで足を滑らせて踵を強打、骨折したものを。

(休業60日)

不休災害-----2件

大工さんが丸ノコ空中切りで指を裂傷したものを。

大工さんが作業中目にゴミが入ったものを。

これ以外にも、物損災害・交通災害も発生しました。

現場に危険はつきものではなく、どうしたら現場から危険な状態を排除できるかを考えて、行動しなければ災害は減少しません。

今年は無災害で行きましょう！

先月の社報に、企業の目的は優位性の証明であると書きました。企業は同業他社よりも優れてることを証明することが目的と言うわけです。目的達成の成果は利益であったり、報酬であったりと思うのです。

自分が得意の分野で優位性を証明する。個人が集まってチームを組んでチームの優位性を証明する。そこで、私たちは建設と言うジャンルを選び、型枠や建築の種目に参加したわけです。この種目で金メダルを取れるようになれば、売上とか利益とか報酬がお客様からいただけるようになります。

お客様も、金メダルを取れる企業には喜んでお金をしてくれると思います。が、現実には、今現在でもどの企業が金メダル企業かは、はっきりとしません。これは、頭抜けた企業がないからで、未だ私達の業界は競争の最中にあり、選別が進んでいない状態にあります。一方、自動車業界などはトヨタが金メダルを獲得したというのは、社会のほぼ一致した意見です。そして、トヨタは利益で1兆円という、途方もない大きな金額を計上するようになりました。

建築や型枠などは、自動車産業に比べると、地域性が強く、売上規模もまったく違いますし、比較することはできませんが、それでも金メダルを獲得すれば、大きな売上と利益が獲得できるはずで

建設業は一品現地生産、受注生産と言う特異性がありますから、製品の品質やコストを比較することが難しいために、なかなかダントツのトップ企業が現れません。

と言うことは、建設業界にはまだまだ競争が甘いと言うか、生産性向上の余地が大きいわけです。

当社には優秀な技術屋さん職人さんが多くいますが、ではその中で、誰がダントツで、同業他社の人材にも絶対に負けないと自負できるのでしょうか。これは、そこまで言い切れる人はまずいないでしょう。比較しにくいことはもちろんです。そこでは、現地受注生産の影響で、競争が甘くなっているのではと感じます。それは建設業界の常識として、同業他社も同じぬるま湯にあるのです。だから建設業界に、ダントツ企業が現れずドングリの背比べみたいにならなってしまう。

いち早く、こうした現地受注生産の環境に甘えるのではなく、どの現場でも、すぐ横で同業他社が必死の思いで生産している現場があり、意地でもその現場に負けまいと努力する、こうした姿勢がなければ、建設業界で生産性をあげることは難しいと思います。

現実には隣の現場はなく、同業他社も普段には見えないわけですから、架空の存在です。架空の存在に勝つことは自分に勝つということなのでしょう。

<http://www.forbuild.co.jp> 当社のウェブサイト(ホームページ)からも社報が読めます！

### 新入社員4名が内定

新規卒者の採用をここ数年控えていましたが、昨年より新規卒者の募集を始めました。厳しい経営環境の中、十分な採用条件を提示することはできませんでしたが、それでも現場で腕を磨こうという若者を4名内定することができました。

新入社員は必ず皆さんの足手まといになります。技能者を育てること

は、先輩技能者としての大切な役目でもあります。自分が持つ知識や技能を引き継いでくれる人がいることは素晴らしいことです。

仕事はもちろん厳しく仕込まねばなりません。同じ職場の仲間として頼りになる存在になるまで、厳しさの中にも愛情を持って見守ってやってください。

### 安全成績 (H16年度)

現場災害 H17.1.1-H17.2.1	
重大災害	----- 0
休業災害	----- 0
不休災害	----- 0
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 0
交通災害 H17.1.1-H17.2.1	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 0
合計	----- 0